

同業会トークサロン

「ビジネスジョークの会」発進!

笑うかどには福来たる。

神田小川町の交差点に立つ真新しいビルの7階に発足した「同業会」は、正に、交差点の角にあり、電話番号も(295)5246(福ここに寄る)となっております。

兩茶亭気楽師匠こと山下廣蔵氏(ライオン商事相談役)の呼び掛けに応じた数名の若手ビジネスマン連により、「ビジネスジョークの会」が発進したのは、つい先日(7月28日(金))であります。

第一回目の参加者は、しじゅう6名(当日は、最初から最後迄、しじゅう、6名でした)ながら、挨拶の時から、洒落の連発。山下さんに遅れること7分の、野本浩一氏も、斉藤晴美嬢が着くなり「今夜はサイトウ」と発奮し、続いて来会の石川潔氏と杉本恭之助氏は、エレベーターの中から、笑い声が流れてくる始末。挨拶するなり、「好きもっとなです」では、すぐに「飲むもっとなです」になっちゃいましたね。

斉藤嬢は、若手ジャーナリストであります。ファッション関係も扱うとかで、キジにはいつも気をつけていると話しておりました。が、実は、普段はジョークは殆んど使わない方なのです。

男性4人は、彼女の気持ちをはぐそうと、夕食は、スパゲッティにしたいなんて……。皆さん、全員メン食いだっけです。

そこへ、来会したのが、島森香嬢で、ほんのり楽しい香りに、突然、気楽師匠が、「ニヤミス、ですね」と。はて?合点がいかぬ斉藤嬢に、「ニヤミスとは、笑うお嬢さん、ニヤッとミスです」ぞ。

最初は、ミスの連発でも、結婚すればミスでなくなる訳で、楽しく仕事もしたいもの。ビジネスの世界には、これからますます、ジョークセンスが必要になるものと思えます。石川氏は、八色とんがらしの研究者としても知られているとかで、切り返す会話がピリッとしてました。

杉本氏は、マジック(奇術)もいけるとか、次回、まあ、じっくり見ましよう。

気楽師匠曰く、「ジョークは、食事をおいしくし、人と人との繋がりを明るくするものです。そして、訓練することによって、上手になるものです」成程。好きこそもののジョークなり。誰かに教えて貰ったジョークを使っても苦情は無し。たったひとつの専売特許でも、相手の気持ちに溶け込みますね。斉藤嬢は、仕事で米國へ行ったばかりとか。ミシガン。ニューヨーク。といった都市を廻り、ロスは無し。

気楽師匠の知人には、仕事で行ったにもかかわらず、骨休みにしか思われぬ旅をした人がいたとか。

島森「それで、どこへ行かれたのですか」師匠「セントルイスへ行き、次にニューヨークで、最後はフロリダ」

杉本「確か、帰って来て、すぐトルコへ行ったら聞きましたか?」

師匠「そこまでは、無かったたので、泡でなかつたよ」

で、会場は大爆笑。

あつという間の2時間でした。夕食に出前で頼んだスパゲッティも、ワイン共々わいわい言いつつ食べると、倍おいしい。

会食の場で、ジョークを言わないのは、罰金です。折角の食事をますぐするのだから。この考えに、賛成します。

という次第で、第一回は発進しましたが、第二回以降、普段の会話で使える様なジョークを披露しながら、楽しみましようとなりました。

ビジネスジョークの会 第一回覚え  
出席(山下・野本・斉藤・石川・杉本・島森 以上6名)